



地域のみなさまのお役に立つ病院を目指して

はしもと きよやす
橋本 清保

新病院長

院長就任のご挨拶

このたび、北村義生前院長の後任として昨年10月31日に就任いたしました橋本清保と申します。皆様におかれましては、前任者同様のご厚誼を賜りますようお願いいたします。

昨年は、東日本大震災の大災害やその後の福島第1原発の事故に対する不安に加え、台風12号による甚大な被害もあり、騒然とした世相の下にありました。当院からも医療支援に向かった者があり、被災地の復興が速やかに行われることを心から祈念いたします。

このような状況下ではありますが、私もPL病院の職員一同は、医療人本来の職責を全うすべく努力いたします。南河内地区の中核病院として、地域の皆様に安心と安全な医療を提供できるよう務めてまいります。そのために各科、一層の機能強化を図って参る所存です。

現在、腎センターやICU、外来化学療法室、血液病センターなどが稼働しております。今後さらに、放射線科で最新の機器の設置を計画しており、地域の皆様に満足していただける医療サポートをより充実させたいと考えております。各科の専門医がそれぞれの分野で十分に能力を発揮できることをご期待いただけるかと存じます。

また最近の傾向として、少子化とそれに伴う周産期医療施設の不足、一方で高齢者対策医療の必要性が認識されつつあります。これらの課題にも早急に対処する機能を整備せねばなりません。当院ではさまざまなニーズに応えるべく引き続き努力して参ります。

私どもは、地域医療の充実に最も重要なことは、地域医療連携室を通じて病診連携あるいは病病連携を図ることではないかと考えております。役割分担とネットワークの構築を通して、それぞれが主体的に活動できること、これこそが医療従事者にとって望ましい医療の在り方だと思えます。これにより地域で医療を完結することができれば、地域の皆様にとっても幸いなことと言えるのではないのでしょうか。

PL病院は、果たすべき社会的使命を自覚し、地域の皆様の期待に添うような医療提供を目指して参ります。どうぞ皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。